

SKX ISO-P50 (キャップ当て締めタイプ)

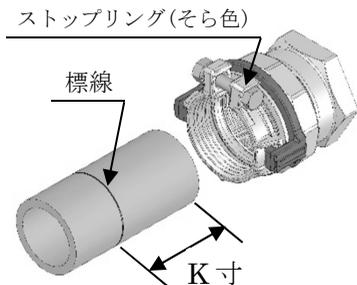
SKX® 施工手順 (ISO-P 用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K寸)を測り、**標線**を記入して下さい。

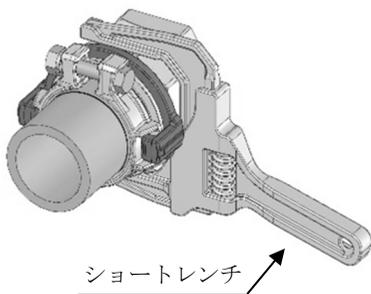
分解せずにそのまま**標線**まで挿し込んで下さい。

(管切断のカエリは取り除く。滑剤塗布不要)



②キャップ本締め

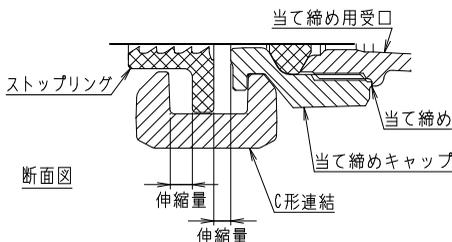
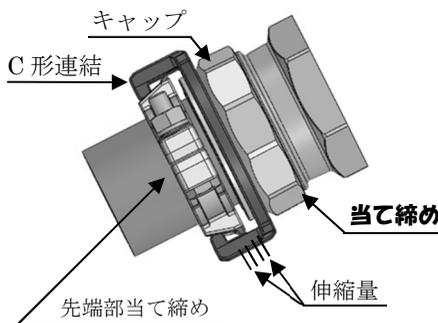
標線とストップリングの端面を合わせた状態で、キャップを手締めしてパイプを固定した後、ショートレンチで**キャップを当て締め**して下さい。



③ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に**押えながら**、**ストップリングを締めやすい位置**にして下さい。

両端に伸縮量を保った状態で、**ストップリング先端部を当て締め**して下さい。



注 1)ストップリングは当て締め後、さらに締め付けると破損など不具合が生じることがあります。

注 2)管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

注 3)再施工時は「施工ハンドブック」を参照して下さい。

④接合完了

キャップとストップリングの**締め忘れを確認**して下さい。

≪パイプ取り外し≫

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを緩め、**ストップリング締付部を開放ナットで広げる**ことにより、パイプと分離可能(分解不要)です。

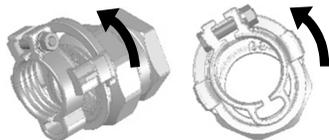
標線位置 K寸メジャー 5 [cm] (管端側) 10

管呼び径	SR呼び径(そら色)	本体・キャップ呼び径	K (mm) +5/-0	キャップ 〔参考締付トルク〕 N・m	ストップリング 〔参考締付トルク〕 N・m	六角対辺
50	ISO-P50	ISO-P50 (D50)	75	当て締め (45)	当て締め (16)	17

SKXストップリング (SR) 交換手順

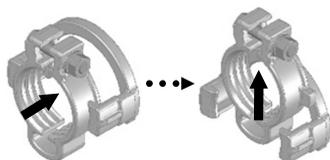
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外して下さい。



②ストップリング取り外し

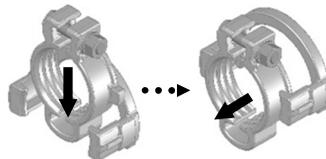
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜いて下さい。



③ストップリング交換

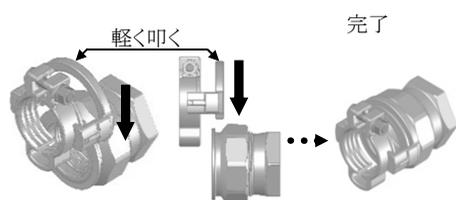
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離して下さい。

※下図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意して下さい。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れます。



パイプ取り外し方法

ストップリングの締付ボルト・ナットとキャップを緩め、ストップリング締付部を開放ナット(呼び径50)で広げることによりパイプとの分離が可能です。(分解不要)

